

生命工学 NEWS LETTER

生命工学科の“いま”をお届けします！

研究の最前線へ！学生が研究成果を全国で発表

今年度も、生命工学科の学生が日頃の研究成果を携えて、全国の学会に参加しました。

【情報分野】 岩谷竜馬さん（修士1年）は、日本地域学会で「外国人受入意識への影響要因分析-地域と関わり方に着目して-」を発表し、社会課題をデータ分析で紐解くアプローチが注目されました。また、安井秀太さん（修士2年）はアルゴリズム研究発表会にて「静的な共有辞書を用いたPPM法の性能評価」、情報科学技術フォーラムにて「辞書の共有化を用いたRange Coder法の性能評価」をそれぞれ発表し、専門家と議論を交わしました。

【生命分野】 学部4年の木下佳也さんは日本鳥学会で「円山公園に生息するオシドリの食性把握に向けた糞中DNA解析の試み」をポスター発表し、オシドリの生態に最新のバイオ技術でアプローチしました。また、日本分子生物学会年会には、学部4年の荒木閑燦斗さんは「隣り合うアミノ酸残基のC α 間距離によるcis型ペプチド結合の抽出」、同じく4年の岡田恭典さんは「ハイドロゲルによるタンパク質結晶保護」についてポスター発表を行いました。この発表により、岡田恭典さんは本大会で見事「ポスター賞」を受賞しました。これは学生（学部生・大学院生）による発表1599件のうち、優れた171件（約11%）のみに贈られた賞です。

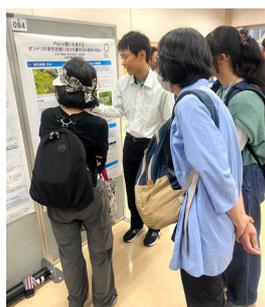
社会データ分析や情報技術、DNA・分子レベルの解析まで、本学科の高度な専門性は学外でも高く評価されています。



岩谷さん／日本地域学会



安井さん／アルゴリズム研究発表会



木下さん／日本鳥学会



岡田さん（左）と荒木閑さん（右）
／日本分子生物学会

4年間の集大成

-生命工学科卒業研究発表会を開催-



2026年2月4・5日に生命工学科卒業研究発表会が実施されました。学科4年生は、それぞれが1年間かけて取り組んできた卒業研究について発表を行いました。4年生や教員はもちろん、学科の下級生や大学院生も参加し、各発表について活発な質疑応答が行われました。また、研究に一生懸命に取り組んだ学生を称えるために設立された表彰制度『生命工学学生研究賞』は、2025年度は学科4年生の飯野準基さんと伊藤岳さんの2名が受賞しました。

生命工学科 資格試験合格奨励金

2024年度は4名に授与

生命工学科では、道路工業株式会社様の寄付金を活用し、指定資格を取得した学生（1～3年）に奨励金を支給しています。対象は「上級バイオ技術者」、「基本情報」、「応用情報」の3試験で、3年次終了時までの合格が条件です。2024年度は以下の4名に授与されました。▽基本情報技術者：梶田宙さん、木下佳也さん▽上級バイオ技術者：早坂奏さん、山野真子さん 本制度は予算上限に達し次第終了となります。早めの挑戦を推奨します。

もっと詳しい情報・普段の様子はここから！

工学部公式HP
<https://eng.hgu.jp>

工学部Instagram



ENHGU_OFFICIAL

理系×文系×企業。教室を飛び出し、生命工学科から「社会」を変えるアイデアを。

理系×文系×企業の連携で広がる実践教育

生命工学科では、理系の専門性を基盤に、地域企業や文系学部と連携した実践的な教育研究活動を推進しています。

発酵分野では、2018年より八剣山ワイナリー（札幌市南区）、2024年よりブルワリーTRANS BREWING（札幌市豊平区）と共同研究を展開。学生が単離・選抜した酵母を用いたワイン「学園オリジナルワイン」やクラフトビール「Lablogue（ラボログ）」が一般販売されており、学生の研究成果が社会で活用されています。また、2025年1月8日には経営学部との学生交流会を開催しました。文系学生の社会的視点と理系学生の技術的強みを生かした意見交換が行われ、新たな連携の芽が生まれています。



学生アイデアプレゼンテーションに今年も本学科3チームが参加

秋に開催される札幌商工会議所主催の「学生アイデアプレゼンテーション」に、毎年本学科のチームが参加し、発表・受賞・報道と多くの成果を挙げています。本イベントは、理系・技術系学生が製品化や起業につながるアイデアを発表する場であり、毎年複数チームが出場しているのは生命工学科だけです。学生の発表はバイオや人間工学の視点から社会課題に挑む実践的な提案で高い評価を得ています。

2025年度は、生命工学科から3チーム計7名が参加しました。当日は提案に多くの質問が寄せられるなど、高い関心を集め、発表の様子は北海道新聞にも取り上げられました。



生命工学科の進路状況は？

本学科では、多様な進路に対応したキャリア形成を支援しています。

【就職】 生命科学系の学生はバイオ・医療・食品関連分野へ、人間情報工学系の学生は情報産業分野への就職が期待されます。2025年度の卒業生は、国家公務員や、市役所などの地方公共団体への就職に加え、NTTデータ北海道、日鉄ソリューションズ北海道、帝人ヘルスケア、国立病院機構、ロバパン、農業協同組合、北海道電力、北洋銀行、リコージャパンなど、幅広い分野で内定を得ています。

【大学院進学】 大学院は、高度な知識・技術を身につけ、企業等で高いリーダーシップを発揮する人材の育成を目的としています。本学科では「大学院進学説明会」を開催するなど、進学に向けた独自のサポートを行っています。国公立大学大学院を含む他大学大学院へ進学する学生も見られ、多様な進路選択を支援しています。

【教員免許取得】 本学科では、「高等学校教諭一種免許状（理科）」「中学校教諭一種免許状（理科）」「高等学校教諭一種免許状（情報）」の取得が可能です。取得には、卒業要件とは別に教職科目の履修が必要です。毎年、学生の約1〜2割が教職課程を履修し、教員を目指しています。



毎年生命工学科で独自に実施されている「就活スタートアップイベント」の様子。内定が決まった4年生がこれから就活する3年生の相談にのる。

高橋さん（公務員）

卒業研究では、平岸産リンゴ由来ビール酵母の選抜について研究を行いました。研究を通して予想外の結果が出るなど大変なこともありましたが、その分やりがいや面白さを感じることができました。卒業後は裁判所職員という全く別分野に進みますが、知識以外の部分でも学んだたくさんの方のアドバイスを活かして頑張ります。



安藤さん（理科教員）

卒業研究では、LAMP法を利用した中学校理科の教材開発に取り組みました。研究活動と日常生活との両立は簡単ではなく、時間配分や計画の立て方に苦労することもありましたが、試行錯誤を重ねる中で計画性や課題解決力を身につけることができました。卒業後は中学校の理科教員として、卒業研究で得た知識や経験を活かして頑張りたいと思います。



荒木関さん（医療系）

卒業研究では、炎症にかかわる酵素について、構造と機能の関係を解析しました。卒業後は医薬品・医療機器メーカーの営業として、持ち前のコミュニケーション力を活かし、信頼される存在になれるよう頑張ります。大学生活は時間があるようであつという間なので、多くのことに挑戦し、その中で自分の強みや可能性を見つけてください。



酒井さん（情報系）

卒業研究では、自分の趣味の散歩に注目し、情報系の研究室で、散歩の内容を決めてくれるアプリの作成を行いました。卒業後は、道内のIT系企業に就職します。勉強でも就職でも、自分の興味に素直になることが大切だと思います！

